

## エダマメのプランター栽培に挑戦

～実際に栽培してみました～



せせらぎ162号(2024年4月)に引き続きエダマメのプランター栽培を紹介します。エダマメはとりたてが一番おいしく、プランターで手軽に栽培できます。

### 1. 播種

播種は5月6日に行い、品種は「湯あがり娘」を使用しました。プランターは幅50cm、奥行32cm、深さ22cm、土容量18ℓのものを用いました。プランターに市販の肥料入り培養土を入れ、株間、条間が各15cmになるように播種穴を6か所あけます。

1穴に2粒ずつ(種は少し離して)エダマメの種子を播き(写真1)、覆土、鎮圧を行います。灌水をして播種作業は完了です。プランターは日当たりの良い場所に置きます。



写真1 播種

### 2. 間引き

播種から10日程度で出芽してきます。子葉の後にでる葉を初生葉といますが、初生葉が開き(写真2)、本葉が出始めたら2本を1本に間引きます。写真3のように1本を手でつかみ、子葉の下の胚軸を剪定バサミなどで切りとります。引き抜いて間引くと、残った幼植物の根が切れてしまう場合があるので、必ずハサミ等で切りとってください。



写真2 初生葉展開



写真3 間引き

### 3. 生育期

適時、灌水します。特に開花期以降は乾かさないようにしてください。葉の色が薄い、丈が伸びないなど生育が劣る場合は、液肥などを施用します。病害虫としてはカメムシ類やダイズサヤタマバエなどにより莢の被害がみられる場合があります。対策としては①登録農薬を散布する、②開花期に防虫ネットをかけるなどです。

### 4. 収穫

今回の栽培では7月17日(播種後71日)に収穫しました(写真4、表題右写真)。莢が大きく膨らんできたら収穫の適期です。収穫適期は短いので、とり遅れのないようにしましょう。ハサミで主茎を切り、莢をもぎ取って収穫してください。

収穫後のエダマメはショ糖やアミノ酸が減少していきます。収穫してその日に食するのがおいしい食べ方です。

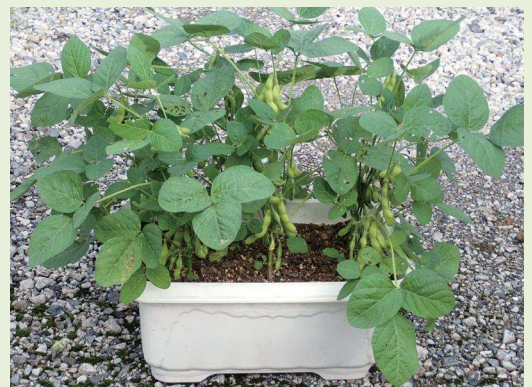


写真4 収穫期